

SHOW-HISシネマフルーツ

★★★

ワンダーウーマン

2017年・アメリカ映画
配給／ワーナー・ブラザース映画・141分

2017(平成29)年9月3日鑑賞 TOHOシネマズ西宮OS



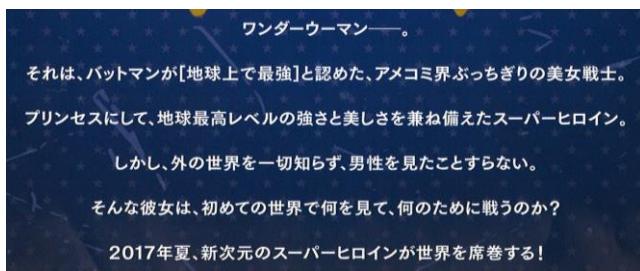
監督：パティ・ジェンキンス

出演：ガル・ガドット／クリス・派
イン／ロビン・ライト／ダニ
ー・ヒューストン／デヴィッド・シューリス／コニー・ニ
ールセン／エレナ・アナヤ／
ユエン・フレムナー

■□■ショートコメント■□■

◆今年の夏は世界中がこの「最強美女」に夢中に。全米今夏No.1ヒット作は日本でも超人気となり、各劇場は大入りらしい。新聞紙評では、「米女流監督パティ・ジェンキンスの本作は、女性監督作品の映画の中で歴代最高の約700億円という驚異的な興行収入を打ち立てた」らしい。しかし、アメコミ史上最強の美女戦士とは?

◆チラシによれば、それは次の通りだ。



また、別のチラシによれば、次のようにも紹介されている。



たしかにチラシに見るそのカッコいい姿と「美しく、ぶつ飛ばす。」という刺激的なキャッチコピーを見れば、こりや誰でも必見と思ってしまうはずだ。

◆そのストーリーは、チラシによれば次の通りだ。



導入部では、ギリシャ神話のような神々の世界が語られながら、ダイアナ（ガル・ガドット）が、女王である母親アンティオペ（ロビン・ライト）とその妹である将軍ヒッポリタ（コニー・ニールセン）の指導のもとで、美しくかつ強く成長していく姿が描かれる。そして、そんな島にアメリカ人兵士のスティーブ・トレバー（クリス・派恩）が不時着したところから、ダイアナとスティーブとの恋模様と、世界平和のために死力を尽くすという崇高なストーリーが展開していくことに・・・。

◆ダイアナがスティーブに連れられて向かった人間の世界は、第1次世界大戦時の「壘戦」を彷彿させるが、この際その描き方はどうでもいい。だって、暗く辛い壘戦だって、そこにダイアナが飛び込んでいけば一気に局面は打開！しかし、ダイアナとスティーブは少しずつ「悪の権化」のようなナチスドイツの指揮官ルーデンドルフ（ダニー・ヒューストン）とその配下で毒ガス作りに邁進する女性科学者マル博士（エレナ・アナヤ）を追い込んでいくが、さて本作のあつと驚く結末に登場する真の敵とは・・・？ナチスドイツと戦うイギリスではパトリック卿（デヴィッド・シューリス）の役割が大きそうだが、さて、その真の姿は・・・？

本作は2時間21分の長尺だが、全く飽きさせないのは立派。たまにはこんな映画で頭を空っぽにして楽しむのもいいだろう。

2017（平成29）年9月5日記